

至誠館大学

科目名	卒業研究指導(後半)			コード	
英語表記					
担当教員名	スポーツ健康福祉専攻教員			年度	平成28年度
基準年次	4年次	開講期	通年	単位数	4
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	必修
授業概要					
本授業は、それぞれの研究テーマに対して自ら導き出した答え(仮説)を基に、その答えが正しいことを事実と論理で証明することができること、及び証明した研究成果を報告(卒業論文の作成・提出、及び発表・報告)することを最終目的としている。					
到達目標					
・卒業論文の執筆。 ・研究成果をまとめ、発表・報告することができる。					
授業計画					
第1回	オリエンテーション。日程の確認、諸連絡など				
第2回	卒業論文作成①:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第3回	卒業論文作成②:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第4回	卒業論文作成③:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第5回	卒業論文作成④:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第6回	卒業論文作成⑤:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第7回	卒業論文作成⑥:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第8回	卒業論文作成⑦:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第9回	「卒業論文中間発表会」。進捗状況に応じた今後の課題等アドバイス				
第10回	卒業論文作成⑧:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第11回	卒業論文作成⑨:進捗状況に応じた卒業論文の執筆				
第12回	卒業論文の提出:研究成果のまとめ				
第13回	卒業論文の提出:研究成果のまとめ				
第14回	卒業論文の提出:発表会資料作成				
第15回	「卒業論文最終発表会」。卒業論文内容の審査および総評				
評価方法と基準			評価項目と割合		
授業出席状況(30%)、授業態度(20%)、卒業論文の提出及び内容と「卒業論文最終発表会」における発表・報告内容(50%)を合わせ、総合的に評価する。			授業態度	期末試験	レポート
					その他
授業外学習			テキスト、教材		
研究課題に応じたフィールド調査など。			担当教員毎に適宜配布する。		
参考書					
・国士舘大学大学院スポーツ・システム研究科編(2003)体育・スポーツ系大学生のための論文・レポートの書き方:資料作りから発表まで、アイオーエム:東京 ・出村慎一(2007)健康・スポーツ科学のための研究方法、杏林書院:東京 ・日本体育学会編(2008)「体育学研究」投稿の手引き(オンライン用) http://taiiku-gakkai.or.jp/wp-content/uploads/2014/02/kenkyu_toukoutebiki.pdf					
キーワード					
・科学論文 ・卒業論文					